2022Japan National Team Report ”選手 ”

J.O.D.A. JAPAN OPTIMIST DINGHY ASSOCIATION

報 告 者	所属クラブ ； B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ 学年　中学３年　　氏名 藤田 蒼士		
大 会 名	2022 Arkas Optimist World Championship		
開 催 地	トルコ ボドルム		
大 会 期 間	7 月 27~8 月 6 日		
セール No	JPN3407	最 終 順 位	95 位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
  1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
  2. なるべく詳細に記入して下さい
  3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
  1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
  2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温は 35℃超える日が多く最高では 45℃近くまでいく日もありました。 水温は少し冷たかったが気温が暑かったのでちょうどよかったです。 海上に出るときはスパッツに水着とラッシュで陸上は半袖に半ズボンで過ごしました。
海面（湖面）の特徴や風の傾向	毎日 1 時過ぎに風が吹いてきて毎日平均 6 メーターぐらいで最大で 12 メーターいかないぐらい吹いてました。けど風は軽かったので日本よりは少し楽でした。波は全然高くなかったです。
セッティングで注意したこと	上る角度を優先させたかったのと1レース目の後半からは風が上がってくるので浅く張ることをいしきました。なのでガラミの幅も狭くしてトップもきつめでセッティングをしました。
セーリングで注意したこと	大会前は調子は良かったので出来るだけスピードを落とさずに上ることとレースエリアの風についてブローを見て考えながら走っていました。
海上で練習したこと	今回は台湾とコーチボートが一緒だったので台湾チームとラビットをしてスピードをくらべたり 100 艇合同でプラクティスレースをしました。

実際のスベリは どうでしたか？	調子はとても良かったのである程度の選手とは並んで走ることが出来たけど何人かの早い選手には負けることもありました。
スタートは どうでしたか？	有利サイドから上手く出れた時は上位でフィニッシュする事が出来たけどスタートする場所を間違えると前出る事は全然できませんでした。アメリカの選手などはッ下からラインに入るのではなく上からバックして入ってきたりしたのでびっくりしました。
コース戦略は どうでしたか？	大会前の練習期間は左側にある島の影響で左のブローに入ってスターボードで走れた艇が勝つ海面でした。大会期間は風の吹く方向が練習の時とは違ってスタート後はポートでのばしブローに入ったら大きいスターボリフトをひたすら走るような風で２上も１上より島側に寄っていてもコースは変わらず右側のブローを早くにつかんだ人が勝つようなコースでした
自分より上位の選手との違いは？	スタートの確実性とコース・シフトの判断がとても上位の選手は上手でした。
国内の練習で 役立ったこと	上り角度優先の走らせ方とスピード優先の走らせ方の使い分け チームレース
国内の練習で 足りなかったこと	スタート練習【ラインの把握】
印象に残った 外国選手は？	THA1985 Weka BHANUBANDH USA21594James PINE ITA9712Francesco CARRIERI UKR274Danyil UKR311Sviatoslav
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	スタートラインの待ち方やレース中の視野など多くの事を学ぶ事が出来ました。
今後の 課題と目標は？	もうOPは卒業なので高校では420にのるのでJOCで優勝してユースワールドに出場できるよう頑張っていきたいです。
JODAへの要望	もっとJODA主催以外の大会にも参加できるチャンスを増やしてくれたらなと思います。これからの日本為にも宜しくお願いします。 あともっとチームレースにも力を入れた方が良いと思いました。
その他	コロナが落ち着いてきたとはいえ今回僕達が大会に参加する為に動いて下さった皆様、ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会